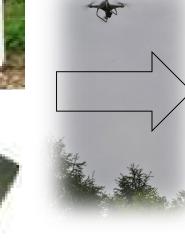
森林材積把握と施業状況確認

- 〇信州大学(山岳科学研究所 加藤正人教授)との共同実証
- 〇撮影済航空レーザーと普及型ドローンを活用した森林調査作業の省力化
- 〇信州大学の知財技術を応用した全数木調査での間伐材の確認と間伐量の把握
- 〇林業従事者側:現地調査の日数が減少、所有者へより正確な伐採による収入額提示
- 〇行政側:間伐前後の森林状況の把握による現地確認の業務削減

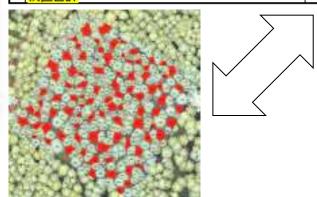








立木No	樹冠面	積	胸高直径	樹高	材	獖	X	Y
1		7.7	29.3	23.1		0.8	-5861.3	5 79827.09
2		5.1	27.5	24.4		0.7	-5858.0	5 79826.04
3		16.1	35.2	24.8		1.1	-5863.0	3 79825.4
4		22.6	39.7	24.0		1.3	-5866.4	8 79824.16
5		15.9	35.0	25.1		1.1	-5853.7	8 79823.5
6		16.1	35.1	25.0		1.1	-5856.83	2 79821.31
7		20.7	38.4	23.8		1.2	-5867.1	9 79819.98
8		28.1	43.5	24.6		1.6	-5850.3	7 79819.62
-	_	00.4	49.7	95.7	200	17	5000 7	700100
3		樹元	面積	胸高直征	¥	樹高	本	積
平均			132	33	.1		25.3	1.1
最小			0.9	24	8		15.1	0.3
最大			45.7	35	.7		32.7	29
伐区台	\≣+							3923



ドローン空撮画像

航空レーザー(DEM)

間伐木(赤)確認と間伐量出力イメージ